

甲南病院瓦版

糖尿病って治るの？



外科・肥満外来
山本 寛 医師

我が国の糖尿病人口は、糖尿病予備群を合わせて約 2,000 万人といわれています(平成 28 年「国民健康・栄養調査」)。特に、肥満を合併するいわゆる肥満糖尿病患者さんが、増加しています。さて、タイトルの疑問ですが、糖尿病が治るという使い方は、誤っているかもしれません。なぜなら、いったん治ったように見えても、油断をすると再発することがあります。恐らく、心当たりのある糖尿病の患者さんも多いのではないのでしょうか？

しかし、生活習慣改善、肥満外科手術などの方法により、薬(いわゆる血糖降下剤)を中止後でも正常血糖が長期間続く患者さんが増えてきていることも事実です。このように、再発するかもしれないという意味で完治は難しい糖尿病ですが、“寛解する”(投薬なしで正常の血糖値を維持できる)患者さんが増えています。今回、欧米の糖尿病の専門学会により、糖尿病の“寛解”を少なくとも 3 か月間血糖降下剤を中止しても糖尿病の程度を表す HbA1c が 6.5%未満を維持できること、と定義づけられました。

当院でも、糖尿病をはじめ、高血圧症、脂質障害、睡眠時無呼吸症候群など肥満関連合併症をもつ高度肥満症患者さんに対して、保険適応のある腹腔鏡下スリーブ状胃切除術を積極的に行っております。このような患者さんは、インスリンを含む強力な血糖降下薬を使用している難治性の糖尿病の方でも、術後に薬を中止しても正常血糖が維持でき、いわゆる糖尿病が寛解する方が多く見られます。仮に寛解に至らなくても、ほぼ全員の方で薬が減量できます。糖尿病だけではなく、手術により高血圧症、脂質障害、睡眠時無呼吸症候群なども改善してくれます。

そうです。糖尿病は完治することは困難ですが、寛解に導くことはできます。あきらめないで、生活習慣の改善に取り組み、また高度肥満の患者さんは、手術を治療の選択肢としてお考え下さい。

当院では、糖尿病の専門医の先生方(月曜日;吉村先生、火曜日;松井先生、木曜日;今井先生、金曜日;西村先生)と肥満専門医・外科医の山本と、栄養士・リハビリ・臨床心理士・看護師などのチームで、患者さんに寄り添って糖尿病の治療に取り組んでおります。

2021 年 10 月 18 日記